

Title	異文化間理解に特化した外国語教育における学習者の省察と批判意識の養成
Sub Title	Development of reflection and critical mind through intercultural education in the field of foreign language learning
Author	國枝, 孝弘(Kunieda, Takahiro)
Publisher	慶應義塾大学
Publication year	2021
Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2019.)
JaLC DOI	
Abstract	<p>相互文化学習を取り入れた外国語学習における、学習者のリフレクションと批判精神の育成の意義を、授業実践と学習者へのアンケートに基づいて考察した。学習者は、自文化と学習言語の文化の比較と、クラスの他の学習者との交流を通して、価値観や考え方の違いと類似に気づき「自己」と「世界」の発見をする。だが世界の多様性を発見するだけでは、現状を肯定する相対主義にとどまる。その乗り越えのためには、自己のポジションを選び取り、その地点から世界の様々な出来事を判断できる批判精神の育成を重要視した。すなわち「自己の発見」の続きこそが大切である。他者との交流、社会との交流は、自己とはどういう考えの持ち主であるか、そのリフレクションを促した。しかしただ単に自分がどのような考えの持ち主であるかを発見するだけでは、この自己を、自己を取り巻く世界との関係において考えを深めるには不十分である。自己の観察をさらに一步深めて、自らの考え方、価値を持って世界を観察し、多様性の中から自らの位置を意識的に選りとり行為こそが必要となるのではないか。そしてその立場から、現在の社会の問題に対して批判的な観察をし、現状の問題点を明らかにしていくことが、これからの社会を生きる上で必要な精神的態度となるのではないだろうか。</p> <p>またそのような批判精神の育成のためにふさわしいオンライン教材を、さまざまな分野を考慮しながら具体的に作成した。</p> <p>The purpose of this research is to consider the meaning of reflective and critical thinking training based on classroom practices and the learner survey. Learners discover their "selves" and the "world" by realizing the difference and similarity of values and thoughts through the interaction with other learners in the classroom. However, discovering the variety of the world only breaks away from relativism, which remains the current situation. To overcome this conservative thinking, they need to take their own position and take critical mind seriously; therefore, they will be able to judge the situation from the position.</p>
Notes	
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2019000007-20190056

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

研究代表者	所属	総合政策学部	職名	教授	補助額	200 (B) 千円
	氏名	國枝 孝弘	氏名 (英語)	KUNIEDA, TAKAHIRO		
研究課題 (日本語)						
異文化間理解に特化した外国語教育における学習者の省察と批判意識の養成						
研究課題 (英訳)						
Development of Reflection and Critical Mind Through Intercultural Education in the Field of Foreign Language Learning						
1. 研究成果実績の概要						
<p>相互文化学習を取り入れた外国語学習における、学習者のリフレクションと批判精神の育成の意義を、授業実践と学習者へのアンケートに基づいて考察した。学習者は、自文化と学習言語の文化の比較と、クラスの他の学習者との交流を通して、価値観や考え方の違いと類似に気づき、「自己」と「世界」の発見をする。だが世界の多様性を発見するだけでは、現状を肯定する相対主義にとどまる。その乗り越えのためには、自己のポジションを選び取り、その地点から世界の様々な出来事を判断できる批判精神の育成を重要視した。すなわち「自己の発見」の続きこそが大切である。他者との交流、社会との交流は、自己とはどのような考えの持ち主であるか、そのリフレクションを促した。しかしただ単に自分がどのような考えの持ち主であるかを発見するだけでは、この自己を、自己を取り巻く世界との関係において考えを深めるには不十分である。自己の観察をさらに一歩深めて、自らの考え方、価値を持って世界を観察し、多様性の中から自らの位置を意識的に選びとる行為こそが必要となるのではないか。そしてその立場から、現在の社会の問題に対して批判的な観察をし、現状の問題点を明らかにしていくことが、これからの社会を生きる上で必要な精神的態度となるのではないだろうか。</p> <p>またそのような批判精神の育成のためにふさわしいオンライン教材を、さまざまな分野を考慮しながら具体的に作成した。</p>						
2. 研究成果実績の概要 (英訳)						
<p>The purpose of this research is to consider the meaning of reflective and critical thinking training based on classroom practices and the learner survey. Learners discover their “selves” and the “world” by realizing the difference and similarity of values and thoughts through the interaction with other learners in the classroom. However, discovering the variety of the world only breaks away from relativism, which remains the current situation. To overcome this conservative thinking, they need to take their own position and take critical mind seriously; therefore, they will be able to judge the situation from the position.</p>						
3. 本研究課題に関する発表						
発表者氏名 (著者・講演者)	発表課題名 (著書名・演題)	発表学術誌名 (著書発行所・講演学会)	学術誌発行年月 (著書発行年月・講演年月)			
國枝孝弘	外国語学習における相互文化教育を通じたリフレクションと批判精神の育成について	SFC ジャーナル	2019			